

鳥取 会報

第 15 号

2006年 8月



妖怪ブームで賑わう境港の「水木しげるロード」

協力/©水木プロ

目次	シルバー事業の課題について	2	平成18年度	
	平成17年度通常理事会・総会開催	3~4	シニアワークプログラム事業実施計画	16
	平成17年度事業実施状況	4~6	健康シリーズ⑮	17~18
	平成18年度事業計画書	7~9	シルバー人材センターの紹介	18~19
	平成18年度事業実施状況	10~14	会員の広場	20~21
	平成17年度		講習会に参加して	21~23
	シニアワークプログラム事業実施状況	15		

社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会

シルバー事業の

課題について



鳥取県シルバー人材センター連合会

会長 宇野 治 巳

シルバー人材センター事業が、このように着実な発展をすることができたのは、ひとつには、この制度の法的な位置づけや、新たな連合制度の設立など、法律上の整備が遂行われ、それに国・地方公共団体の補助など助成措置が非常にタイムリーに、かつ効果的に実施されたということによるものであります。また、シルバー人材センターの会員である高齢者の大変なご努力のおかげであることは申すまでもありません。

同時に常日頃から感じていることでありますが、県内四千人余りの会員の方々が高齢者らしい、まことにまじめなキメ細やかな働きぶりや、地域社会に高く評価された結果ではなかるうかと思ひ、日ごろから会員の皆さまに敬意を抱いているものでございます。

来年には、いよいよ団塊の世代が高齢期に入っております。人口構造は急激な高齢化

と人口減少が同時に進行するなかで、地域の活力を維持・増進していくためには、年齢にかかわらずより多くの方々が、社会に参加して支えあう「共生社会」を実現していくための取り組みが不可欠とされています。

シルバー事業は、すでに四半世紀以上にわたって、できるだけ多くの高齢者が「福祉の受けてから社会の担い手へ」となることを目指して活動を続け、地域環境の美化作業や介護・育児支援と市民生活をサポートし、安心社会づくりを重点的に実施しております。

また、一方会員には地域社会に参加することによって、社会の一員としての誇りと生きがいを見出し、心身両面にわたる健康の維持・増進を図っているところでもあります。

地域における高齢者をとり巻く雇用・就業事情は、依然として厳しい状況となっておりますが、高齢社会対策の一環として定年退職者

等を対象に雇用・就業等の提供業務を実施しているところでもあります。

世代の高齢期の過ごし方については、自分に合った形で働くことはもとより、ボランティアなど地域社会に貢献する活動や趣味を生かしたサークル活動に生きがいを見出したり、健康づくりを進める等、多種多様化してきています。

このように高齢者の多様なニーズに添えていくためには、仕事の需給調整機能から社会参加促進機能まで、より幅広い業務を展開することとなり、その役割はいよいよ重要となっております。

このような要請に添えるためには、まずセンター機能の強化拡充が必要であり、設立理念に則した会員の参画を基本とする運営基盤づくりが何よりも求められており、今後の緊急課題となっております。

鳥取県シルバー人材センター事業の更なる発展をめざし、皆様のご支援ご協力を切にお願い申し上げます。



平成十七年度 通常理事会・総会開催

第一回通常理事会

平成十八年三月十七日（金）鳥取市において、平成十七年度第二回通常理事会が開催されました。

審議された次の議案は、いずれも原案のとおり承認されました。

第一号議案 連合会定款の一部変更（案）
について

第二号議案 会計処理規程の一部改正（案）
について

第三号議案 職員給与規程の一部改訂（案）
について

第四号議案 平成十七年度事業計画変更（案）
について

第五号議案 平成十七年度収支補正予算書（案）
について

第六号議案 平成十八年度事業計画（案）
について

第七号議案 平成十八年度収支予算書（案）
について

報告事項

一 平成十七年度事業の実施状況について

二 都道府県連合事務局長会議の概要について

第二回通常総会

平成十八年三月二十八日（火）米子市において、平成十七年度第二回通常総会が開催されました。



総会は、宇野連合会会長の挨拶に続いて、議長に（社）境港市シルバー人材センター理事長 足立郁馬氏を、議事録署名人に（社）南部広域シルバー人材センター理事長 中川正昭氏、（社）大山町シルバー人材センター理事長 林原彦一氏を選出。次の議案について審議が行われ、いずれも原案のとおり可決承認されました。

- 第一号議案 連合会定款の一部変更(案) について
- 第二号議案 会計処理規程の一部改正(案) について
- 第三号議案 職員給与規程の一部改訂(案) について
- 第四号議案 平成十七年度事業計画変更(案) について
- 第五号議案 平成十七年度収支補正予算書(案) について
- 第六号議案 平成十八年度事業計画(案) について
- 第七号議案 平成十八年度収支予算書(案) について
- 第八号議案 連合会会費規程の改正(案) について

平成十七年度 事業実施状況

経験交流大会開催

平成十八年二月三日(金)午前十時三十分から倉吉市において、経験交流大会を開催しました。

大会は、県内シルバー人材センターの役員・会員、市町村の担当者の方々百二十九名の参加のもと、宇野連合会会長の挨拶のあと、来賓の地元倉吉市の長谷川市長、鳥取労働局



田村職業安定部長、鳥取県商工労働部 植田雇用政策室長より祝辞を賜り、続く基調講演には東京都の(社)世田谷区シルバー人材センター会長 竹内 弘氏をお迎えし、「シルバー人材センター事業の展開と問題点・課題について」と題して講演をいただくなど盛大に開催することができました。

また、お昼の休憩時間には、米子広域シルバー会員「サロン21・さつき会」によるアトラクション(皿回し)が披露され、会場の雰囲気が一変となごやかに変わった中で午後の部に入りました。



午後は県内三センターから、次の事例発表をいただきました。

- ・「独自事業について」

(社) 智頭町シルバー人材センター

理事長 石谷文一氏



・「就業機会の拡大に向けた取り組みについて」
 (社) 倉吉市シルバー人材センター
 事務局長 中 林 正 樹 氏
 ・「会員の運営参画促進について」
 (社) 米子広域シルバー人材センター
 理 事 中 野 賢 一 氏
 引き続き、事例発表者を助言者に迎えて活発な質疑応答・意見交換が行われ、盛会のうち閉会しました。

福祉・家事援助サービス 推進事業職員研修会開催

平成十八年二月十七日(金)倉吉市において、各センターの担当職員を対象として福祉家事援助サービス推進事業職員研修会を開催しました。参加者は二十二名で、連合会から全シ協主催の中央研修会の報告、出席者から各センターの取り組みについて報告、米子広域シルバー人材センター吉田事務局長から「SCC会員制度と組織化促進、運営の関わりについて」の説明の後、意見交換を行いました。

少子高齢社会において、福祉・家事援助サービスは今後伸びる事業・伸ばしていく事業であるとの思いを深くした研修となりました。

鳥取県シルバー連合 行政連絡会議開催

平成十八年二月二十日(月)鳥取県庁において、鳥取労働局・鳥取県・シルバー人材センターの三機関による連絡会議を開催しました。出席者は十七名で、次の議題について意見交換が行われました。

- 一 十七年度シルバー人材センター事業実施状況について
- 二 シルバー人材センターにおける指定管理者制度への対応について
- 三 小規模センターの育成について

- 四 鳥取県シルバー人材センター連合会運営補助金交付要綱について
- 五 退職前高齢者生きがい就業体験事業について

無料職業紹介・労働者 派遣事業担当者会議開催

平成十八年二月二十四日(金)倉吉市において、無料職業紹介・労働者派遣事業担当者会議を開催しました。シルバー人材センター間で、無料職業紹介の取り扱いに差異が生じないよう県下の法人シルバー人材センターの責任者及び従事者等十四名が出席し、各センターの実施状況の報告や今後の取り組み等について協議しました。また、労働者派遣事業については、実施に向けての今後の対応について意見交換を行いました。

第二回安全就業 推進委員会開催

平成十八年三月三日(金)倉吉市において、平成十七年度第二回安全就業推進委員会を委員等十六名が出席し開催しました。

会議では、連合の安全・適正就業パトロール指導員から全シ協主催の中央研修会の報告と平成十七年度県内センターのパトロール巡回指導の実施状況の説明、各委員から自センターの安全就業推進事業の実施状況について

報告し、意見・情報交換等を行った後、平成十八年度の実施計画等を協議しました。



第二回連合事務局長会議開催

平成十八年三月九日（木）鳥取市において、平成十七年度第二回鳥取県シルバー人材センター連合の事務局長会議を開催しました。連合会から都道府県連合事務局長会議の概要に

ついでにの伝達、十七年度連合事業の実施状況を説明後、次年度に向けて意見交換・協議が行われました。



第二回就業機会開発推進委員会開催

平成十八年三月十四日（火）倉吉市において、平成十七年度第二回就業機会開発推進委員会を開催しました。委員等十八名が出席し、

次の議題について協議しました。

- 一 平成十七年度就業機会開発推進事業実施状況について
- 二 平成十七年度各シルバー人材センターの取り組み状況について
- 三 平成十八年度就業機会開発推進事業実施計画について
- 四 シニアワークプログラム事業実施計画について
- 五 その他



平成十八年度 事業計画書

基本計画

急速な少子高齢化社会が進み、年々、総人口に占める高齢者の割合が増加してきている中で、経済社会の活力を維持・発展させていくためには、高齢者が長年にわたり培ってきた豊かな知識と経験及び技能を積極的に生かし、働くことを通じて健康で生き甲斐をもって社会活動に参加し、活力ある社会の実現を目指すことが重要な課題である。

シルバー事業においては、来年には団塊の世代が六十歳台に到達し、高齢者の厳しい雇用環境の中で多様な働き方として、シルバー会員として急増することが予想され、受け皿の体制整備が求められているところである。

一方、シルバー人材センターを取り巻く環境は大きく変化してきており、国及び地方の財政事情による補助金削減、行政改革、指定管理者制度の導入等による影響で極めて厳しい状況にあり、自主財源の確保、就業量・多様な職種の確保、運営の効率化等、一層の自立化が求められている。

このため、中長期的な財政見通しの策定と、これに対応した自立的な運営基盤の強化が必要となる。また、会員の自主的な参画による就業機会の開拓及びシルバー労働者派遣事業

やシニアワークプログラム事業の活用等による就業分野の拡大を行っていく必要がある。

また、就業だけにとられない後期高齢者を中心として、ボランティア活動やサークル活動などの社会参加活動を行うことにより、地域におけるシルバー事業の理解と信頼を深めることも大切である。

以上のことをふまえ、本県シルバー連合は活動拠点センターと一体となり、シルバー事業発展を目指して以下の事業に取り組むこととする。

事業実施計画

一 安全・適正就業推進事業

シルバー事業の基本である安全就業・適正就業を推進するため次の事業を実施する。

- (一) 安全就業推進委員会の開催（年二回）
シルバー連合全域の安全就業推進計画を策定し、拠点センター（以下「センター」という。）会員が安全に就業できるように事故防止策等を検討する。
- (二) 安全・適正就業パトロール員の配置
センターの安全就業の指導、相談及び助言を行うと共に安全就業推進計画に基づき就業現場の巡回パトロールを実施する。

- (三) 安全就業研修会の開催
センターのリーダー的職員、会員等の研修会を実施し安全意識の高揚を図る。

- (四) 適正就業の徹底

各センター会員の適正就業の徹底に努める。

二 普及啓発事業

シルバー人材センター事業の意義、理念、事業活動等を広く地域社会に浸透させるための啓発活動を行う。

- (一) 連合会機関紙の発行（年二回）
連合会の諸行事及びセンターの活動状況等の情報を提供する。
- (二) 普及啓発促進月間（十月）
街頭宣伝、社会福祉施設等へのボランティア活動、各種イベントへの積極的参加により、集中的な普及啓発を行う。
- (三) シルバー祭の開催（一会場）
鳥取県社会福祉協議会主催の「いきいき健康福祉まつり」に参加し、シルバー事業の普及啓発に努める。
- (四) 普及啓発用リーフレットの作成・配付
会員用、発注者用の普及啓発のリーフレットを作成配付し、広く周知を図る。
- (五) ホームページの充実
ホームページによる積極的な周知に努める。

三 就業開拓等事業

- (一) 就業機会開発推進委員会の開催（年二回）
センター会員の希望に応じた多様な就業機会を開拓し受注拡大及び広域的な就業需給調整を図るため、次のとおり実施する。

就業開拓推進計画を策定し、目標の設定、具体的方策、実行スケジュール等を立案する。

(二) 就業開拓推進員の配置

就業機会の確保、提供及び県下の広域的な需給調整を目的として、連合会に就業開拓推進員を配置する。

(三) ホワイトカラー就業機会開発員の配置

連合会にホワイトカラー就業機会開発員を配置し、シルバーしごとネット等を活用した、ホワイトカラー職種に係る仕事の確保・提供体制を整備し、市町村の区域を越えた広域的な需給調整を推進する。

四 交流研修事業

シルバー事業の的確な運営と事業の充実・発展を期するため役員、会員及び職員を対象として研修会を開催する。

(一) 経験交流大会

各センターが、それぞれの事業運営上直面している課題や問題点について経験交流を通じて学びとともに、共通認識を培っていく。

(二) 連合役職員研修会

全シ協・中国シ協が実施する研修会に積極的に参加し、組織・事業運営等についての専門的知識を習得する。

また、連合本部として、新任の役職員（連合本部及び活動拠点センター）を対象として、シルバー事業理念の徹底等、基本

的な事業運営に必要な意識の醸成を図る研修を行う。

(三) センター職員対象実務研修会

会計経理・税務関係について、専門的な知識を習得する。

五 無料職業紹介事業

無料職業紹介事業の的確な実施に努めると共に、実施センター間で、取り扱いに差異が生じないよう打合会を開催する。

また、職業紹介従事者は、全シ協が主催する職業紹介責任者講習会を適時受講する。

六 労働者派遣事業

シルバー労働者派遣事業の実施に向けての検討委員会を立ち上げ、実施に当たっての諸課題を検討する。

七 福祉・家事援助サービス事業

地域社会の高齢化と共に、福祉・家事援助サービス事業は今後ますます需要が増加することが期待される。このためセンターが地域社会のニーズに充分対応できるように情報の収集・提供、指導・助言を行う。

(一) 研修会の開催

センターのコーディネーター及び担当職員の研修会を実施し、事業の充実を図る。

(二) 普及啓発

福祉・家事援助サービス事業の情報の収集・提供に努める。

八 指導相談事業

全シ協並びに他のシルバー人材センター連合等と情報交換を行って、新規法人シルバー人材センター及び必要センターに対し巡回指導及び相談を行う。

九 高齢者生活援助サービス事業

高齢者の生活を支えるため、地域社会における高齢者のニーズに対応した生活援助サービスを実施する。

実施シルバー

- (社) 鳥取市シルバー人材センター
- (社) 米子広域シルバー人材センター
- (社) 倉吉市シルバー人材センター

十 高齢者活字子育て支援事業

高齢者に就業機会を確保・提供する一環として、就学前の幼児に対する保育施設への送迎、世話などの育児支援や、就学児童に対する放課後・土日学習、生活指導等の学習支援等の体制整備を、市町村との連携のもとに実施する。

実施シルバー

- (社) 鳥取市シルバー人材センター
- (社) 倉吉市シルバー人材センター

十一 シニアワークプログラム事業(SPP事業)

高齢者の雇用就業機会の確保を促進することを目的として、高齢求職者等を対象に、地域の事業主団体等の協力のもとに、雇用を前

提とした技能講習、合同面接会等を実施して雇用就業機会の確保を図る。

(一) 啓発事業

県、職業安定機関の協力のもと、事業主団体に対して高齢者の雇用就業について理解を求めるとともに、SP事業への参加・協力を要請する。

さらに関係行政機関、事業主団体、活動拠点等の協力のもと、ポスター、リーフレット、パンフレット等を配付しSP事業のPR活動に努める。

(二) 総合的雇用就業情報提供事業

地域の高齢者に対して、技能講習の開催案内と募集、職業相談、求人情報の提供を行う。また、事業主に対して求人相談・求人開拓、合同面接会の案内及び求職者の情報提供を行う。

(三) 技能講習事業

① 第一種技能講習

オフィスクリーニング講習

パソコン(中級)講習

パソコン(実務)講習

接客サービス講習

塗装講習

植栽管理講習

左官ブロック積講習

② 連合二種技能講習

竹炭製造講習

庭木管理講習

③ 第一種介護講習

ホームヘルパー二級

④ 第二種技能講習

(社) 鳥取市シルバー人材センター

(社) 米子広域シルバー人材センター

(社) 倉吉市シルバー人材センター

(社) 境港市シルバー人材センター

(社) 南部広域シルバー人材センター

(社) 智頭町シルバー人材センター

(社) 岩美町シルバー人材センター

(社) 湯梨浜町シルバー人材センター

(社) 琴浦町シルバー人材センター

(社) 北栄町シルバー人材センター

(社) 大山町シルバー人材センター

(社) 八頭町シルバー人材センター

(社) 江府町シルバー人材センター

(社) 日南町シルバー人材センター

四回

十五回

十三回

十五回

七回

八回

四回

九回

三回

四回

四回

八回

四回

二回

四回

三回

四回

八回

二回

四回

三回

三朝町シルバー人材センター

⑤ 第一種介護講習

(社) 鳥取市シルバー人材センター

(社) 米子広域シルバー人材センター

(社) 倉吉市シルバー人材センター

(社) 境港市シルバー人材センター

(社) 南部広域シルバー人材センター

(社) 北栄町シルバー人材センター

(社) 日南町シルバー人材センター

(社) 日南町シルバー人材センター

(社) 日南町シルバー人材センター

(社) 日南町シルバー人材センター

(社) 日南町シルバー人材センター

(社) 日南町シルバー人材センター

(社) 日南町シルバー人材センター

(社) 日南町シルバー人材センター

(社) 日南町シルバー人材センター

(社) 日南町シルバー人材センター

(社) 日南町シルバー人材センター

(社) 日南町シルバー人材センター

(社) 日南町シルバー人材センター

(社) 日南町シルバー人材センター

(社) 日南町シルバー人材センター

(社) 日南町シルバー人材センター

(社) 日南町シルバー人材センター

(社) 日南町シルバー人材センター

(社) 日南町シルバー人材センター

(社) 日南町シルバー人材センター

(社) 日南町シルバー人材センター

四回

七回

七回

五回

七回

七回

二回

四回

四回

一回

一回

一回

一回

一回

一回

一回

一回

一回

一回

一回

一回

一回

一回

一回

一回

一回

一回

一回

十二 諸会議の開催

総会、理事会及び関係行政機関等との連絡会議等を開催する。

平成十八年度 事業実施状況

第一回通常理事会開催

平成十八年五月二十三日（火）米子市において、平成十八年度第一回通常理事会が開催されました。審議された次の議案は、いずれも原案どおり承認されました。

- 第一号議案 平成十七年度事業報告及び収支決算報告について
- 第二号議案 平成十八年度事業計画変更（案）について
- 第三号議案 平成十八年度収支補正予算書（案）について
- 第四号議案 連合会理事の辞任に伴う補欠選出について
- 第五号議案 鳥取県シルバー連合労働者派遣事業検討会議の設置について

なお、第四号議案については、歳岡輝巳理事・副会長（鳥取市シルバー人材センター理事長）、中川正昭理事（南部広域シルバー人材センター理事長）、磯江末夫理事（湯梨浜町シルバー人材センター理事長）から辞任の申し出があったことを受け、通常総会において補欠を選任することを議決後、理事会を休憩し、別室にて「理事候補者選考委員会」を開催しました。

再開後、歳岡選考委員長から補欠理事候補者二名が発表され、理事会で承認されました。

第一回通常総会開催

平成十八年六月七日（水）倉吉市において、平成十八年度第一回通常総会が開催されました。



来賓には、鳥取労働局から田村和美職業安定部長、伊藤静夫高齢者対策担当官、鳥取県から小倉 充商工労働部次長のご臨席を賜り、連合会の正会員団体から理事長、事務局長等二十七名の出席のもと、宇野連合会会長の挨拶、来賓の祝辞、川口貞良顧問の挨拶に続き、議長に（社）智頭町シルバー人材センター理事長 石谷文一氏、議事録署名人に（社）境港市シルバー人材センター理事長 足立郁馬氏、（社）北栄町シルバー人材センター理事長 岸田忠良氏を選出し、議事に入りました。



審議された議案は次のとおりで、いずれも原案のとおり可決承認されました。

第一号議案 平成十七年度事業報告及び収支決算報告について

第二号議案 平成十八年度事業計画変更(案)について

第三号議案 平成十八年度収支補正予算書(案)について

第四号議案 鳥取県シルバー連合労働者派遣事業検討会議の設置について

第五号議案 連合会理事の辞任に伴う補欠選任について

※選任された新理事は次のとおりで、任期は前任者の残任期間となります。

理事 木島敏行 (社) 鳥取市シルバー人材センター理事長

理事 田子 貢 (社) 南部広域シルバー人材センター理事長

理事 足立慎夫 (社) 琴浦町シルバー人材センター理事長

なお、第五号議案の可決承認後、総会を中断し、別室にて新理事を含む全理事の出席により、欠員となった副会長一名の互選が行われ、再開後、宇野会長から木島敏行氏が選出された旨報告されました。

第一回連合事務局 議長会議開催

平成十八年六月一日(金) 米子市において、平成十八年度第一回鳥取県シルバー人材センター連合の事務局議長会議を開催しました。

連合の平成十七年度事業実施状況並びに平成十八年度事業計画書(変更案)について協議の後、平成十八年度第一回都道府県連合事務局議長会議の伝達、続いて鳥取労働局 伊藤高齢者対策担当官から全国高齢者対策担当官会議の概要について説明があり、意見交換後閉会しました。

理事長・事務局 合同会議開催

平成十八年六月二十九日(木) 倉吉市において、鳥取県シルバー連合 理事長・事務局長合同会議を開催しました。この度の会議は、去る六月十六日の県内で初めて起きた会員さんの死亡事故を踏まえ、また県下新任役員研修会を兼ねた会議となりました。

議題は次のとおりで、シルバー事業の発展と重篤事故の再発防止に向けて熱心な議論が交わされました。



- 一 シルバー会員重篤事故発生・再発防止に向けて
- 二 平成十八年度事業計画等について
- 三 「高齢者の社会活動と健康維持・増進に関する調査結果」について
- 四 新任役員研修
- (一) 安全・適正就業について
- (二) シニアワークプログラム事業について
- (三) 国庫補助金制度について
- 五 意見交換

第一回安全・適正就業推進委員会開催

平成十八年七月七日（金）倉吉市において、平成十八年度第一回安全・適正就業推進委員会を委員等十五名が出席し開催しました。

平成十八年度の安全・適正就業推進事業実施計画の検討、連合の安全・適正就業パトロール指導員から平成十七年度の県内及び全国の事故発生状況とその分析結果及び平成十七年度のパトロール実施状況を説明し、また、各委員から自センターの安全就業に係る取り組みを報告、続いて（社）米子広域シルバー人材センター 吉田事務局長から「会員の重篤事故発生に伴う今後の防止対策について」の経過報告があり、意見交換の後閉会しました。

第一回就業機会開発推進委員会開催

平成十八年七月十九日（水）倉吉市において、平成十八年度第一回就業機会開発推進委員会を開催しました。

- 推進委員等十六名が出席し、次の議題について協議しました。
- 一 平成十七年度の実施状況について
- 二 各シルバー人材センターの取り組み状況について
- 三 平成十八年度就業機会開発推進事業実施計画について
- 四 指定管理者制度への対応について
- 五 普及啓発促進月間における取り組みについて
- 六 その他

労働者派遣事業検討会議開催

平成十八年七月二十五日（火）倉吉市において、平成十八年度第一回鳥取県シルバー連合労働者派遣事業検討会議を開催しました。

鳥取労働局職業安定部、鳥取県商工労働部労働雇用課、シルバー人材センター等の委員十名の互選により座長に宇野連合会会長を選任した後、今後のスケジュール、事業計画及び課題等について検討しました。

検討会議は、年内に後二回の開催を予定し、

当面八月から九月にかけて「労働者派遣事業就業ニーズのアンケート調査」を実施することが決まりました。

「いきいき健康福祉まつり2006」世代間交流のつどい「への参加

平成十八年八月五日（土）鳥取県社会福祉協議会主催の「いきいき健康福祉まつり」が、鳥取県立倉吉体育文化会館で開催されました。



このまつりは、少子高齢化社会が急速に進展しているなかで、長寿社会における自らの役割を考え、様々な世代との交流を促し、積極的な社会参加への契機となるようにとの趣旨で、毎年、東・西・中部の順番で開催されています。

連合会も後援団体として、中部地区のシルバー人材センターとともに参加し、来場者とのふれあいを通じ、シルバー事業の広報に努めました。



安全就業研修会開催

安全・適正就業強化月間（七月）の一環として、平成十八年八月七日（月）倉吉市において、県下シルバー人材センターの役員・会員等八十六名の参加のもと、平成十八年度安全就業研修会を開催しました。



宇野連合会会長の挨拶に続き、会員及び役員から募集した「シルバー人材センター事業安全就業標語」の入選者の表彰、去る六月



の全シ協定期総会において安全就業に係る模範的センターとして表彰された（社）光市シルバー人材センター事務局長 山根恒憲氏による「安全・安心の取り組みについて」と題した基調講演、（社）米子広域シルバー人材センター植栽班リーダー 松下 伸氏の「植栽グループ就業における安全対策」の事例発表、（社）米子広域シルバー人材センター正会員（鳥取県地域交通安全活動推進員・赤字救急法指導員）天野陽二郎氏の「高齢者の交通安全について」の講話の後、意見交換を

行いました。

参加された皆さんが、シルバー事業の基本である「会員の安全確保・就業中及び就業途上の事故防止」が何よりも優先することを自覚し、それぞれの立場で今後どうすべきかを自覚しなければいけないのか等々真剣に考える機会となった有意義な研修会となりました。

安全就業標語の表彰作品

『優秀作品』

その油断 取りかえせない 大事故に

松浦宏尚

(社) 米子広域シルバー人材センター



『入選作品』

安全は チームみんなの

合言葉
前場節子

(社) 倉吉市シルバー人材センター

慣れた作業に危険が潜む

心のたるみが事故のもと

磯見弘義

(社) 境港市シルバー人材センター

安全は 仲間のカバーと ささえ合い

丸重勝

(社) 南部広域シルバー人材センター

身につけた なれた仕事も過信せず

山岡美恵子

(社) 大山町シルバー人材センター

気のゆるみ なれた自信が 事故を呼ぶ

岡直平

(社) 鳥取県シルバー人材センター連合会

『佳作』

作業手順 守って護られ

身の安全
堀場正雄

(社) 鳥取市シルバー人材センター

安全チェックで 慣れの就業 事故防止

佐々木敏一

(社) 鳥取市シルバー人材センター



急がず あせらず あわてずに

手元足元 安全確認
広瀬瑞恵

(社) 倉吉市シルバー人材センター

ゼロ災害 日ごと人ごと

職場ごと
瀬尾勝弘

(社) 倉吉市シルバー人材センター

今日もまた 安全によと

妻の声
三反田禎

(社) 南部広域シルバー人材センター

平成17年度シニアワークプログラム事業実施状況

シニアワークプログラムは、国からの委託事業として、働く意欲のある高齢者の雇用・就業機会の確保を促進することを目的として、高齢者求職者等を対象に実施します。

平成17年度は技能講習12回、介護講習では2級課程4回実施しました。

技能講習第1種

講習名	実施地区	講習日程	講習日数	申込者	受講者	修了者
パソコン（中級）	倉吉会場	06.21～06.29	7日	20名	20名	18名
観光ガイド養成	智頭会場	07.05～07.13	7日	24名	23名	19名
接客サービス	鳥取会場	07.11～07.15	5日	25名	24名	14名
パソコン（中級）	境港会場	08.01～08.09	7日	22名	20名	19名
左官・ブロック積	鳥取会場	09.01～09.08	6日	16名	14名	13名
植栽管理	米子会場	09.13～09.22	7日	45名	24名	23名
塗装	倉吉会場	10.17～10.21	5日	16名	16名	15名
オフィスクリーニング	米子会場	10.24～10.28	5日	21名	19名	19名
パソコン（中級）	米子会場	11.14～11.22	7日	33名	21名	20名
パソコン（中級）	鳥取会場	11.24～12.02	7日	35名	20名	20名
竹炭製造	倉吉会場	12.05～12.14	7日	21名	15名	15名
接客サービス	米子会場	01.23～01.27	5日	24名	20名	18名

介護講習第1種「2級課程」

講習名	実施地区	講習日程	講習日数	申込者	受講者	修了者
訪問介護員養成講座	米子会場	06.28～08.08	24日	30名	20名	19名
訪問介護員養成講座	倉吉会場	08.22～10.03	24日	28名	20名	20名
訪問介護員養成講座	鳥取会場	09.27～11.11	24日	40名	20名	18名
訪問介護員養成講座	境港会場	10.18～11.30	24日	28名	20名	19名



オフィスクリーニング講習



接客サービス講習

平成18年度シニアワークプログラム事業実施計画

シニアワークプログラム事業は、(社)鳥取県シルバー人材センター連合会が主催する第1種講習・連合2種講習と各シルバー人材センターが主催する第2種講習があります。

平成18年度の第1種講習は技能講習12回、介護講習4回、連合2種講習を2回計画し、順次実施しています。

技能講習第1種

講習名	実施地区	講習日程	講習日数	定員	受講者	修了者
パソコン(中級)	米子会場	06.08~06.16	7日	20名	19名	19名
パソコン(中級)	倉吉会場	06.27~07.05	7日	20名	20名	20名
接客サービス	鳥取会場	07.10~07.14	5日	20名	18名	15名
パソコン(中級)	境港会場	08.03~08.11	7日	20名	20名	20名
植栽管理	米子会場	09.06~09.14	7日	20名		
左官・ブロック積	鳥取会場	09.21~09.29	6日	20名		
塗装	倉吉会場	10.16~10.20	5日	20名		
オフィスクリーニング	米子会場	10.23~10.27	5日	20名		
パソコン(中級)	鳥取会場	11.28~12.06	7日	20名		
パソコン(実務)	米子会場	12.05~12.13	5日	20名		
接客サービス	米子会場	02.05~02.16	5日	20名		
パソコン(実務)	鳥取会場	02.07~02.16	7日	20名		

連合2種講習

講習名	実施地区	講習日程	講習日数	定員	受講者	修了者
庭木管理	鳥取会場	06.19~06.23	5日	20名	20名	20名
竹炭製造	倉吉会場	11.13~11.22	7日	20名		

介護講習第1種「2級課程」

講習名	実施地区	講習日程	講習日数	定員	受講者	修了者
訪問介護員養成講座	米子会場	06.22~08.02	24日	20名	20名	18名
訪問介護員養成講座	倉吉会場	08.21~09.29	24日	20名		
訪問介護員養成講座	鳥取会場	10.05~11.16	24日	20名		
訪問介護員養成講座	境港会場	10.18~11.30	24日	20名		



庭木管理講習



パソコン(中級)講習

めまいについて、 そして高齢者のめまい



山陰労災病院
第二耳鼻咽喉科部長

門 脇 敬 一

めまいは日常しばしばみられる症状の一つです。最近とくにめまいを訴えられる方が多くなっています。このめまいは種々な原因で起こります。そしてめまいの感じ方には様々なものがあります。

- 一 グルグル周囲がまわる、あるいは自分自身がまわる
- 二 船にのった感じでふわふわする
- 三 目の前が暗くなったり、
- 四 力が抜けて、くたっとなったり、
- 五 失神したりなど

があります。要するに本人が、めまいがすると言えはめまいという症状になる訳です。

めまいは短期間で治るものも多く、その場しのぎの治療で放置され、原因が調べられずに終わることが少なくありません。一方で、めまいを主訴とするなかには大きな病気のまえぶれとなっていたり、脳腫瘍や血液疾患の

部分症状であることもありますので十分注意しなければなりません。

めまいは原因として極端なことを言えば耳から、頭から、体から、その他から起こってきます。中でも頭からのめまいは命にかかわることもあり大変です。頭からのめまいとしては脳出血、脳梗塞、脳腫瘍などがあります。

頭からのめまいが生じた場合は他の神経症状を伴います。例えば手足がしびれたり、手足が動かなくなったり、意識がなくなったり、物が二重に見えたり、顔が麻痺したりとめまいと嘔気、嘔吐以外の症状を伴うこととなります。その際には神経内科や脳神経外科での診察や治療が必要になるようになります。

しかし、めまいの多くはめまいと吐き気以外にあまり症状のない場合が多いようです。その場合には耳からくるめまいといえるかもしれません。耳からのめまいと言いますが、実際には多くの病気がありますが、大雑把にいうと四種類です。それには

- 一 良性発作性頭位眩暈症
- 二 前庭神経炎
- 三 メニエル病
- 四 突発性難聴（めまいを伴う）

があります。原因としては大変多いのですが、意外と知られていない良性発作性頭位眩暈症、有名ではありますが、多くはないメニエル病があります。めまいを生じた場合は特に耳からなのか頭からなのかを特に判断しなければなりません。耳からのものは聞こえの悪さや

耳鳴りを伴うことが多いのです。

高齢者のめまい

めまい、めまい感あるいはふらつきはどの年代層にもみられますが高齢者では特に多いようです。加齢にともなって平衡に関係するあらゆる器官や神経系に劣化が起こり、高齢者にめまいが多くなるとされています。特に高齢者のめまいの原因としては耳から、頭から、そして薬剤性めまいなどがあります。

耳鼻科的疾患としては良性発作性頭位眩暈症があります。これは頭位や体位を変換した際に回転性のめまいが生じる疾患です。耳石器の障害とされています。メニエル病は耳鳴り、難聴、めまいがほぼ同時に起こり、繰り返すものを言います。前庭神経炎は上気道炎に続発し、蝸牛症状（難聴、耳鳴りなど）を伴わずに回転性のめまいが出現する疾患です。突発性難聴は文字通り突然に発症する難聴で、めまいを伴うことがあります。

頭からの場合、一つには、急性期脳血管障害があり、これは一過性脳虚血や脳梗塞として脳出血などがあげられます。また慢性期脳血管障害があり、これは脳血管障害後遺症であり、しばしばめまいやめまい感がみとめられます。さらに慢性脳循環不全症はいわゆる脳動脈硬化症です。脳腫瘍もめまいの原因となり得ます。また薬剤がめまいの原因となる

こともよく知られています。

とくに高齢者のめまいでは、脳動脈硬化との関連が強いようです。めまいは脳底動脈の動脈硬化と密接な関係があることが分かっています。したがって、壮年期以後、とくに老年者ではめまいは椎骨脳底動脈系の動脈硬化が進展していることを示す一つの重要な症状といえます。脳底動脈系の一過性脳虚血発作は、血圧の変動によるものが多く、主として血圧の下降した際に出現することになります。高血圧の人で血圧が何らかの理由で低下した際、正常血圧の人で血圧が低下した際に、あるいは低血圧傾向のある人に出現しやすいといえるのです。

めまいを訴える症例でメニエル病と診断されるのが少なくありません。実際のところ、老年者ではほとんどないようです。めまいの症状は多いのですが、難聴その他のメニエル病にみられる症状はきわめて少ないのです。壮年期以後、とくに老年者でめまい発作を訴える場合は、まず椎骨脳底動脈循環不全を考え、血圧を測定し、通常の血圧との違いを調べることになります。また、頭部の屈曲、回転によりめまいが出現したり、とくに上方を見た時、めまいが出現したり、不快感が出現してくるか調べることになります。対処としては、起立をゆっくり行くと、首の左右回転などをゆっくりと行うことで良くなります。

シルバー人材センターの紹介

(社)鳥取市シルバー人材センター

事務局長 田中明博

設立二十五周年を迎えた節目の年

平成の大合併により八町村を加え、山陰地方初の二十万都市へと変貌した鳥取市を母体とした(社)鳥取市シルバー人材センターは、昭和五十六年の設立以来、二十五周年を迎えました。

当センターでは、計画的な事業展開を図る



ことを目的に、平成十四年度、五カ年の中期事業基本計画を策定し、①会員の確保と受注の拡大 ②安全・適正就業の整備 ③組織体制及び施設の整備 ④独自事業や新規事業分野などへの取り組み ⑤適正な財政運営の推進の五項目を基本目標として、それぞれ数値、事業計画を定めて取り組んできました。計画の最終年度となる本年は節目の年として、通常総会において大幅な役員体制の変更を経て、来年度よりスタートする第二次中期事業基本計画の策定に向け、現在鋭意検討しております。

センターの現況と課題

現在の会員数(七月一日)は六百三十四人を数えますが、母体都市の六十才以上人口五万三千二百二十三人(六月末)から見た粗入会

率は一・二%と全国平均のほぼ半分の数値となつています。人口規模から見ると千三百人の会員数を目標としなければなりません。会員獲得のための普及啓発活動、地域班最大の目標として取り組んでいます。「一人一会員加入運動」もなかなか成果を見ておりません。基本目標に掲げたその他の項目はほぼ計画どおりの進捗を見ております。

今後、会員の増強、安全就業の徹底、広範囲となった地域への対応、新規独自事業の開拓、公の指定管理者制度への取り組み等々、残る課題は多くありますが、長年の懸案であった新ワークプラザもいよいよ来年度より稼動することが決定し、現在、会員、役職員一丸となった事業の拡大を目指しております。

(社)境港市シルバー人材センター

事務局長 門 永 幸 雄

境港市は、昭和二十九年に近隣六か町村が合併して「境港市」となり、昭和三十一年四月に「境港市」として、市制を施行し、古くから港を中心に発展し、人口三万八千人、面積は二十九平方kmの町で、鳥取県の最北西部、弓浜半島の北端に位置し、東は美保湾に、西は中海に、北は境水道をへだてて島根県松江市美保関町に相對し、南は米子市と接している。

弓浜半島は、中国地方最高峰の大山の山ろ

くから島根半島に向かって延びる幅四km、長さ二十kmの一大砂州であり、白砂青松に続く雄大な浜辺の海岸線は、風光明媚で日本の「なぎさ百選」にも選ばれている。近年、観光面で、「さかなと鬼太郎に会える町」として脚光を受けております。

センターの現状と課題に向けて

境港市シルバー人材センターは、平成三年十月四日に設立し、現在、会員は二百八十一名、契約金額では約一億円の横ばい状態で、その内容は襖・障子貼り、剪定の技能群と除草の一般作業群とで八十%を占めており、特徴的な就業の場として、浜辺のゴミの環境美化作業がある。

発注者からの感謝の言葉を生きがいに会員

は就業に励んでおり、特に、口コミによる家庭からの依頼が増えてきている。

また、ボランティア活動は、介護老人保健施設内での毎月のお楽しみ会や敷地内の除草、剪定作業などです。

今後、社会環境の変化に対し、就業機会の開拓、新会員の加入促進、後継者育成、適正就業などの課題解決と活性化に向けて、原点に立ち返り、会員のセンター運営への参画や組織体制等を見直し、変革していくことが必要であり、当センターの設立十五周年を契機に、会員・役職員と共に、「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、大局的な視野に立って、時代に即応した取り組みに努めたいと思います。



会員の広場

安全・適正就業の 推進について



(社)米子広域シルバー
人材センター
安全部会長

矢野 哲男

SC会員の皆様には、日頃より、安全・適正就業に留意して頑張ってください、平成十七年度の傷害事故は、かなり減少して喜んでいました。十八年度も、この意気込み、その調子で事故なしを目標に、「一安全心得一みんなで守ろう十ヶ条」を合言葉に、より一層安全就業に邁進して行こうと、通常総会で誓ったばかりの一月後に、あつてはならない筈の死亡事故が発生し、緊急連絡を受けて愕然としました。

六月十九日の午後、SC関係の方々、転落事故現場へ直行したわけですが、何故?どうして……と理解に苦しみ、只、実感が湧いてこなかった。

色々、経過説明を聞いている内に、「成る程、成る程、これではしかるべくして起こった訳だなあ」と、素人の私にも納得出来た次第。

二十一日、植栽班全会員の緊急集会を開催。

事務局の報告後、協議検討、今後の対策、反省点に続いて、皆、真剣に討論しました。紙面の都合上、その内容は割愛します。

七月に入り、安全就業強化月間とタイミン
グも良く、安全部会として、鳥取県SC連合
会のS氏、米子SC安全適正就業推進員のN
氏と共に、各就業現場を巡回させてもらって
いますが、さすがに皆、安全着用は勿論の
こと「みんなで守ろう十ヶ条」を完璧に遵守
し、あらゆる事故の発生防止に努めていただ
いている様に感じています。

意外とむつかしい広報くぱり



(社)琴浦町シルバー
人材センター

板倉 栄

私のシルバーでの仕事は町関係の広報紙配
布です。毎月末に十〜十五種数のチラシ・パ
ンフレットなどの印刷物を町内の区長さんに
届けることです。私は現役時代に仕事柄種々
な文書を数えたり、仕分けた経験があること、
又町内の地理、家々の所在などがかなり頭に
入っているのです、これなら私にピッタリと思
い喜び勇んで参加させていただきました。

しかし久しぶりに文書を手にとってみます
と配布文書の紙質・形状・厚みなど多種多様
でこれを各区ごとの戸数に仕分け整理梱包し

区長さんに届けるまでの仕事は以外にむつか
しく、神経をつかう仕事であることを痛感し
ています。配付すべき数は住民登録などによ
る確定した数です。配付する文書は余部はあ
りません。紙数を間違えれば区長さんに迷惑
をかけ、当然のことながらお叱りを受けす
ぐに追加送付しなければなりません。同時に委
託者である町の信頼を裏切る事となり、シル
バーの評価を下げ他の仕事にも悪影響を及ぼ
しかねません。しかし数万枚の紙数を仕分け
一枚の違いないようにする事は意外と難し
い事です。「あわてず、慎重に」時には人を
かえ目をかえて数えなおし万全を期していま
す。

配達に当たっては事前に順路を調べ効率よ
く安全をモットーとしています。兎角年を取
ると友達が少なくなりがちですが、シルバー
のおかげで仲間がふえ楽しくやっています。

食事サービスの仕事



(社)北栄町シルバー
人材センター
介助班

岩本 仙子

「こんにちは、暑くなりましたね、お変わ
りありませんか」と声をかけて昼食を届けま
す。「温かいお弁当いつも有難うございます。
元気です」と利用者の方の声に安心します。

待っていてくださり、世間話をしながら、弁当以外で必要なことは無いのかなと思いをめぐらしてみたりしています。

退職して、家事だけでは何か寂しい思いをしていた時に、シルバー人材センターの加入を勧められ早速加入しました。高齢者等の食事サービスの仕事にかかわっていますが、健康であることと、人との繋がりをもちたいと思っただけで、一年が過ぎました。

調理が上手なわけでもなく、一抹の不安はありましたが、栄養士さんの指導で調理して届け、お礼の一言に喜びと充実感を感じます。一人だと偏りがちな食事を、バランスを考えた献立にしてあることに感心しながら届け、地域で元気に過ごしていただけた一助になればと願っています。

昨年十月、鳥取県で最後の合併をした町は、会員も多くなりました。会員同士の話はずみ、学ぶことも多く、私も健康に留意しながら、この仕事を続けていきたいと思えます。



旧大山町シルバー人材センター

田中 幸信

旧中山町シルバーセンターが発足したのは

これからもシルバー人材センターと共に

平成四年で、始めの作業は草刈と草取り、土木作業所の簡単な手伝いと倉庫の整理でしたが、数年前に中学校の道路に面した冬椿の生垣が除雪の下になり、被害を受け補修に行きましたところ、校長先生が、「現在樹木管理は米子造園がやっておられるが、これは地元の人にやって貰わなければならぬ。又、塵があればポイ捨てもし易い綺麗であれば捨てにくい、これが心境を左右するので環境が悪ければよい子は育たない」というお話に、家に帰り家内に話すと、「あんたはのめり込み主義ですからやめなさい」といわれたがこの年齢になり少しでも社会に対して役立つことができればと思いつくことにしました。幸に、以前伯穂園芸で活躍され、学校関係の工事をされた方が指導をしてくださることになり、作業ができるようになりました。ようやく三年程で概要が出来上がり、学校全体が美しく見えるようになり、花の季節には花壇など美しくなりました。花が咲く為の苦勞もありましたがやり甲斐があったと思っております。中学校の剪定をしていると孫がお世話になった小学校の教頭先生が校長になられていて、「田中さん中学校だけ綺麗にしないで小学校も綺麗にしてください」と言われ、現在小中学校の樹木管理・剪定害虫防除を行っております。今後県下一の美しい学校になる事を目標に置いて頑張りたいと思えます。

講習会に参加して

庭木管理講習会に参加して

(鳥取会場)



鳥取市

佐々木 昌彦

定年を迎え、さて何から始めようと思っただけで、自分の家の庭木は専門業者に任せ、そんな物かと出来上がりを見て、流れ作業の如く、他人事のように感じておりました。日々樹木の成長を見ながら、先ず自分の庭木があるのだから自分の考えで自分流に樹木を自由に出来ないものかと思う様になり、知人又インターネットで手入れ方法を調べ、手入れを開始しました。

ところが、樹木も生きています。文句も言わないが、良い結果が出てきません。鋏、鋸の入れ方、病虫害の発生等自分の思いよりはるかにかけ離れて、自分の技量の無さに腹立たしさを感じていました。

先日シルバー人材センターより十八年度の講習会開催の情報を頂き、何はともあれ、真っ先に受講申し込みいたしました。

五日間の長丁場何年ぶりの勉強会です。期待と不安が一杯でしたが、この講習会に掛けてみよう、邪念は払い除けて日程の調整

をし、先ず鋏・鋸を購入し、ピカピカの一年生の気分再現です。

分からない事は何でも聞こう、自分にいいきかせていざスタートです。

講習会場に到着すると庭木のことは任せなさいと言わんばかりの受講生に見えて、自身を益々ヒートアップさせました。

会場が県立障害者福祉センターで二十名の受講生、初日がビデオによる座学、二日目からセンター内での庭木の剪定開始です。

講師より、安全管理についての話し、脚立・芽摘用鋏・太枝用鋏・大鋏や鋸の使い方方の説明が有り、松の剪定からスタートしました。

一斉に講師の指先に受講生が集中した瞬間です。「強い芽を切り、中を空かさない、将来の姿を描いて、残す芽、又、切る芽、下枝、交差枝、平行枝、とルールが有り、最後は剪定する人のセンスが大きく影響する。」と聞きました。

モッコク、マツ、ツツジ、山茶花、モクセイ、桜、垣根等、木の特性を掴み、鋏の入れ方で固く見えたり、柔らかく見えたり、変化して行く庭木に感動と落ち着きを覚えました。又病害虫、農薬関係も現物を見ながらのご指導、皆さんが目と耳を立てて吸収致しました。

最終日、手入れ後の講評があり、自分が手入れした庭木に差し掛かると心配やら、嬉しいやら、好評を自分に言い聞かせての満足感がありました。

講習会が終わり早速自分の庭木で復習剪定



開始です。
近所の人から「今までの手さばきと仕上がりに落ち着きがあるよ」と言って貰い、今回の講習で得た技術は、私にとって大きな財産となりました。機会があればいろいろな活動に取り入れたいと思います。
本当に講師又スタッフの皆さん有り難う御座いました。

パソコン(中級)講習会

に参加して

(倉吉会場)



倉吉市

徳井俊雄

新聞に、パソコン教室受講の案内がのっていました。

申し込み条件として、「基本操作ができて、就職・就業を希望される方」とあり、仕事でパソコンをあつかう事がありました。基本操作がどれだけのレベルをさしているのか解りませんでした。

仕事をやめ一年間家において、する事といえ、一人でする趣味の魚釣りぐらいで、大勢が集まって同じ事をすると言う事に飢えていました。自信はありませんでしたが早々に申し込みました。

以前に買っていたワードの説明書を取り出し、パソコンの電源を入れて見ましたが、文書を作成する以外何を練習したらいいのか頭がうかんできませんでした。

講習初日、どんな事を習うのかな、と言う期待と、皆に迷惑をかけないようにしているのかなという不安で一杯でしたが、先生方の教えて下さる姿にふれて徐々に不安もなくなり教室に行くことが楽しくなりました。

次々と課題をいただきながら完成したものを



を確認してもらい、指摘をいただきながら次へと進んで行きました。講習三日目ぐらいになると、理解が出来ない事が多くなり、予習、復習が、かかせなくなり、翌日にはもう忘れて先生に助けを求める事が多くなりました。同じ事を二度、三度聞いてようやく理解できたと思っていても一晩寝たら忘れていたこともありました。

親子ほど違う生徒に、ねばり強く、いやな顔せず、何度同じ事を聞いてもこころよく教えていただき、大変たのしく講習を受ける事ができました、大変感謝しています。

これからは、このパソコン教室で学んだこ

とをいつまでも忘れない様に繰り返し練習して、一つでもなにかの役にたてたいと思っています。

介護講習(二級)を終えて

(米子会場)



米子市

潮 千登美

今年で地区の在宅福祉委員会のボランティアとして早九年目にはいりました。

最初自分の考えとしては、二、三年で辞めようと思いましたが、いざやってみると楽しく又やりがいのある仕事です。良い仲間にも恵まれてここまで来れたと思っています。

今、高齢化が進む中、介護に関する知識や技能などを習得しておいた方が良いのではないかといつも考えていた所に、鳥取県シルバー人材センターより通知をいただき、さっそく応募しました。しかし、定員二十名との事で、応募したものの通知がくるまでは、とても心配でしたが、運よく受講案内が来たときは、嬉しく思いました。

開講式には、鳥取県シルバー人材センター連合会より、「最後まで頑張ってください。」との激励を受け、本当に身の引き締まる思いでした。又テキストも充実して判りやすく大変良いと思えました。

昨年は、女性の方が多かったとの事、今年には男性の方が女性より二名多く珍しいと言われています。

講師より、専門的な分野の中でビデオやテキストによってわかりやすく教えていただき、段々と内容も基礎知識から介護技術部分に進んで来た時にはとても不安でいっぱいでした。特に排泄、食事介護等、障害をお持ちの方の介護の大きさが脳裏に焼き付いて忘れる事が出来ない日々でした。

現実の介護現場は自分が想像していた以上に厳しい現場だと痛感させられました。

訪問介護同行訪問では買い物、料理作り、家事援助又寝室の掃除でしたが、デイサービスでは、利用者さんとのコミュニケーションが主で、最初はどんな風に話をしていくのがわからず苦戦しましたが、昔の思い出話を聞いたりするうちに信頼関係が少しずつ作れたかと思えました。

講習会も四カ所あちらこちら回りました。実習はいつも厳しい事ばかりでしたが、十八名のみなさんと共に無事に修了する事が出来た事は大変ありがたかったと思いました。

この介護講習を受けた事で大変良い社会勉強をさせていただき、何より嬉しい思いでいっぱいです。

これを機に自分や身近な人、他人の人の役に立ちたいと思います。

この期間中にご指導いただきました皆様ほんとうに有り難うございました。

(社)鳥取県シルバー人材センター連合会正会員

(平成18年8月1日現在)

名 称	〒	所 在 地	電 話	FAX	代表者
(社)鳥取市シルバー人材センター	680-0823	鳥取市幸町73	0857-22-0050	0857-22-0051	木島 敏行
(社)米子広域シルバー人材センター	683-0811	米子市錦町1-110	0859-32-2633	0859-32-5823	宇野 治巳
(社)倉吉市シルバー人材センター	682-0816	倉吉市駄経寺町2-8-1	0858-22-0870	0858-23-6101	野島 完
(社)境港市シルバー人材センター	684-0034	境港市昭和町11-17	0859-47-4540	0859-47-4541	足立 郁馬
(社)南部広域シルバー人材センター	683-0351	西伯郡南部町法勝寺170	0859-66-4011	0859-66-5330	田子 貢
(社)智頭町シルバー人材センター	689-1402	八頭郡智頭町智頭1795-1	0858-75-0170	0858-75-2366	石谷 文一
(社)岩美町シルバー人材センター	681-0003	岩美郡岩美町浦富1041-1	0857-72-2511	0857-72-2512	谷口 幹彦
(社)湯梨浜町シルバー人材センター	682-0712	東伯郡湯梨浜町上浅津123-2	0858-35-4130	0858-35-4130	足立 春人
(社)琴浦町シルバー人材センター	689-2352	東伯郡琴浦町浦安152-3	0858-52-1001	0858-52-1001	足立 慎夫
(社)北栄町シルバー人材センター	689-2103	東伯郡北条町田井46-2	0858-36-6220	0858-36-6227	岸田 忠良
(社)大山町シルバー人材センター	689-3111	西伯郡大山町赤坂764	0858-49-3012	0858-49-3013	林原 彦一
八頭町シルバー人材センター	680-0463	八頭郡八頭町宮谷254-1	0858-72-0021	0858-72-2793	村田 敏雄
江府町シルバー人材センター	689-4413	日野郡江府町洲河崎62	0859-75-3211	0859-75-3211	宇田川 潔
日野町シルバー人材センター	689-5131	日野郡日野町黒坂1247-1	0859-74-0870	0859-74-0338	瀬田 寿幸
日南町シルバー人材センター	689-5211	日野郡日南町生山357	0859-82-0223	0859-82-0223	大下 勇
三朝町シルバー人材センター	682-0152	東伯郡三朝町本泉359-1	0858-43-1883	0858-43-1883	西村武津美

あどがき

関係各位のご協力のお陰で第十五号が発行できました。ご寄稿いただいた皆様から御礼申し上げます。

去る六月、植木伐採作業中の墜落事故により会員さんが死亡されるという県内で初めての大変不幸な事故が発生しました。心からご冥福をお祈りいたしますとともに、関係者一同が事故防止を肝に銘じ、「安全就業」に向けた取り組みを一層強化していただきますようお願いいたします。

全国で起きた重篤事故は年々増加しています。就業途上の交通事故も就業中の事故より多く発生しています。

過去の無事故は、明日の安全を決して保障するものではありません。事故原因、発生場所、安全装備の状況等々の分析結果を無駄にしないでください。

シルバー事業は、「安全第一」が基本です。その油断 取りかえせない 大事故に

(平成十八年度 安全就業標語優秀作品)

会報 鳥 取 第15号
平成18年8月10日 発行

発行：社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会

所在地：〒683-0812 鳥取県米子市角盤町1丁目76番地

電話：0859-37-2531

FAX：0859-37-2537

印刷：(株)ニシキ印刷
鳥取県米子市灘町3-150

電話：0859-32-2250